奈良工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	異文化交流Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0013	科目区分	一般 / 選択
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	1
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	なし		
担当教員	板倉 和裕		

到達目標

1．文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。また、本校が提供する国際交流プログラムに積極的に参加し、仲間と協力してその準備に積極的に取り組むことができる。
2．本校が提供する国際交流プログラムに参加し、積極的に海外学生との交流を図ることができる。異なる文化を持つ学生との交流を通して、異文化の存在を意識し、どのような態度で異文化を受け入れるべきか考え行動に移すことができる。主に英語を用いて交流プログラムの報告会でプレゼンテーションをすることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
異文化理解力	異文化理解に対する高い意識をもつとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。	異文化理解に対して高い意識をもっている。	異文化理解に対する意識が不十分である。
グローバル・コミュニケーション力	異文化への深い理解をもつとともに、積極的に海外学生との交流を図ることができる。	積極的に海外学生との交流を図ることができる。	積極的に海外学生との交流を図ることができない。

学科の到達目標項目との関係

準学士課程（本科１～５年）学習教育目標 （３）

教育方法等

概要	異文化理解に関する３つの構成要素（①態度、②知識、③技能）を理解した上で、海外学生との交流プログラムに参加し、日本文化、学校等の紹介並びに海外学生とのコミュニケーションを通してグルーバル感覚を身につける。
授業の進め方・方法	講義により、「異文化理解」における３つの構成要素（①態度・②知識・③技能）を理解した上で、実際に海外学生との交流プログラムにおける学校及び日本文化の紹介に関するプレゼンテーションの準備を行う。また、実際の国際交流プログラムへの参加と異文化交流を通して得られた知見をポスターにまとめる。
注意点	異文化理解に対する積極的な取り組みが必要である。

学修単位の履修上の注意

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	１．講義 　異文化理解に関する知識伝達型の講義と演習に出席する。 ２．シンガポール人学生の受入準備のための活動 　学校・文化紹介用のPPT作成、キャンパスツアーの企画、交流の企画など、シンガポール学生の受入準備活動を行う。 ３．シンガポール人学生受入活動への参加 ４．報告会開催に向けた準備活動 　全体での振り返りおよび役割別振り返りを行うほか、報告会の開催に向けてPPT、掲示用ポスター、広報用動画の作成などを行う。 ５．国際交流プログラム参加報告会の実施	１．文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。また、本校が提供する国際交流プログラムに積極的に参加し、仲間と協力してその準備に積極的に取り組むことができる。 ２．本校が提供する国際交流プログラムに参加し、積極的に海外学生との交流を図ることができる。異なる文化を持つ学生との交流を通して、異文化の存在を意識し、どのような態度で異文化を受け入れるべきか考え行動に移すことができる。主に英語を用いて交流プログラムの報告会でプレゼンテーションをすることができる。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		

		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	プレゼンテーション	授業参加・態度	提出物の完成度	合計
総合評価割合	50	30	20	100
基礎的能力	50	30	20	100